

OCP-IP が PSL パッケージをリリース

オレゴン州ポートランド — 2006 年 7 月 11 日 — OCP-IP (Open Core Protocol International Partnership) は、本日、IP ブロックの検証に役立つ OCP Property Specific Language (PSL) パッケージが使用可能になったことを発表しました。PSL パッケージは従来の検証方法を補完するもので、これにより、OCP インターフェイスが仕様に準拠していることを確認するための検証をエンジニアが「推測に基づいて」行う必要性を排除して、検証品質と IP ブロックの互換性を確保できます

各設計の IP コアの数が増え続けるにつれて、相互接続の検証の重要性が高まります。利用できる検証言語はいくつかありますが、標準として広く受け入れられているものはなく、VHDL や Verilog のモニタも費用効果の点で問題があります。独自の方法が数多く利用されていますが、検証品質は十分とは言えません。新しい種類の検証パッケージが必要とされていることは明白です。

PSL は、検証言語ではなくハードウェアプロパティであるという点で、他の検証方法とは異なります。PSL は一貫性のある単純かつ強力なプロパティであり、宣言型の構造構文を備えています。この言語は、その規則的な特性から学習の敷居も非常に低く、迅速な採用と実装が可能です。OCP PSL パッケージには 4 つの異なる階層が含まれており、現在だけでなく将来にわたって持続可能な検証環境を実現できます。OCP-IP メンバーは、VHDL 風と Verilog 風の両方を利用できます。

この最初の PSL パッケージの開発は、Nokia Technology Platforms により行われました。このパッケージは、OCP-IP コミュニティに委ねられます。コミュニティのすべてのメンバーには、成果をコミュニティ全体で共有することが強く求められます。

OCP-IP の Ian Mackintosh 会長は次のように語っています。「OCP の堅牢で活気のあるインフラストラクチャは、優れたサービスや製品を提供している多数の最先端の独立系企業により支持されています。OCP-IP が、OCP 規格を採用および実装しやすくするために必要な最新のツールやサービスの提供を続けていくことができるのは、PSL パッケージの場合の Nokia のような、メンバー企業からの支援と寄付のおかげです」

PSL パッケージの詳細については、www.ocpip.org をご覧ください。

OCP-IP について

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は、2001年、相互接続可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する包括的なソケット標準規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進およびサポートする目的で発足しました。OCP-IP の Governing Steering Committee には、Nokia 社 [NYSE: NOK]、Texas Instruments 社 [NYSE: TXN]、東芝セミコンダクターグループ (Toshiba America TAEC を含む)、および Sonics 社が参加しています。OCP-IP は非営利団体であり、システムレベルの統合化要件を総合的に満たす、フルサポートされたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを、世界で初めて提供しました。OCP を使用することで、IP コアの再利用が容易になり、SoC の設計期間、リスク、および製造コストを削減できます。OCP ソケットは VSIA により承認されており、OCP-IP は VSI Alliance に加入しています。詳しい背景やメンバーの情報については、www.OCP-IP.org をご覧ください。

追加情報については、次の窓口にお問い合わせください。

OCP-IP Association, Inc.
E-mail: admin@ocpip.org
www.ocpip.org